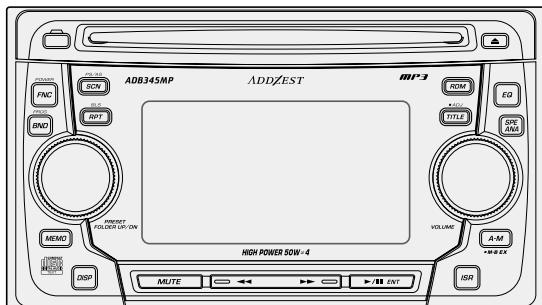
ADDZEST

2DIN CD/MP3/カセット センターユニット

ADB345MP

取扱説明書

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT

MP3

このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

● 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

● 保証書（別添）はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

目　次

はじめに

本機の操作

■CD/MP3 を聴く

■カセットテープを聴く

■EQを調整する

■タイトルをつける

目　次

主な特長

本機は、AM/FMラジオとカセットデッキ、CD/MP3デッキを内蔵した2DINセンターユニットです。

■50W × 4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力 50W × 4ch ハイパワーアンプを内蔵

■表示部

- 車内をカラフルに演出する 9 パターンのスペクトラムアナライザー

■ラジオ部

- プリセットが簡単なオートストア機能で、FM12 局、AM12 局をメモリー
- メモリーした放送局を 7 秒間ずつ受信するプリセットスキャン機能

■CD/MP3プレーヤー部

- CDテキスト /CD-R/CD-RW 再生対応
- ID3タグ表示が可能
- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 全演奏曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能

＊ 本機はシングルCD(8cm CD)には対応していません。

■MP3 再生機能

- MP3フォーマットで記録したCD-R/CD-RWが再生できます。
- ISO9660 レベル 1、2、JOLIET、ROMEOに対応

＊ 本機はプレイリストには対応していません。

■マグナベース EX 機能

- 音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■カセットプレーヤー部

- テープの早送り/巻戻し中や、頭出し中、APC動作中に、ラジオモードやCDモードに切り換えることができるモニター機能
- 12秒以上の無録音部分を早送りして演奏するブランクスキップ機能
- 演奏中の曲、または次の曲の頭出しを行うAPC 機能
- 演奏曲の最初の 10 秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能

■EQ(イコライザー)部

- ４種類のベーシックパターンから選べるグラフィックイコライザー

■タイトル入力機能

- CD にタイトルをつけ、CD演奏時に表示させることができます。

■携帯用オーディオ入力機能(AUX入力)

- ポータブル MD や DVD 等が接続できる AUX入力端子(RCA)を装備。

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について
この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中などには具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。
	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中などには具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	❶ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

- 安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

安全上のご注意

■使用上のご注意

⚠警告

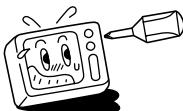
● **走行中は運転者による操作をしない・・・**

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

● **走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない・・・**

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。

● **本機を分解したり、改造しない・・・**

事故や火災、感電の原因となります。

● **ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない・・・**

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

● **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する・・・**

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

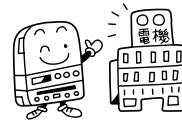
ご使用の前に

⚠警告

● **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する・・・**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

● **本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する・・・**

専門技術と経験が必要です。

⚠注意

● **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する・・・**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる事があります。

● **ディスク挿入口に手や指を入れない・・・**

ケガの原因となることがあります。

● **ディスク挿入口に異物を入れない・・・**

火災や感電の原因となることがあります。

● **本機を車載用以外には使用しない・・・**

感電やケガの原因となることがあります。

● **アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない・・・**

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。

● **樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない・・・**

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

● **電源を切るときは、音量を最小にする・・・**

電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

● 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

禁止

⚠注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミがつくことがあります。

フリップダウンパネルについて

● 本機は必ずフリップダウンパネルを閉じた状態で使用してください。
● フリップダウンパネルの開閉時に無理な操作や異常な使用をしないでください。
● フリップダウンパネルを開いた状態で、トレーの代わりにして物を置かないでください。
● フリップダウンパネルを閉じるときにオープンボタンを押さないでください。
● 操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると破損や変形などの原因になります。

⚠注意

フリップダウンパネルの開閉時には指などを挟まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

ディスプレイについて

● 本機のディスプレイ部（アクリル部品）の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

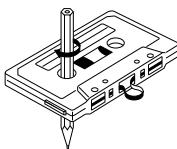
● 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

● 表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

● 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときは「エラー表示について」(51ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

カセットテープについて

- カセットテープを挿入するときにテープがゆるんでいると、誤動作を起こす場合があります。テープのゆるみをなおしてから挿入してください。
- テープヘッドやカセットテープに、磁石やドライバーなど、鉄類や磁石類は近づけないでください。
- C-120タイプのカセットテープは、テープが非常に薄く、伸びたり切れたりしますので、使用しないでください。
- ラベルのはがれたカセットテープやケースが変形しているカセットテープは、使用しないでください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たるところには放置しないでください。
- 長時間使用しないときは、カセットテープを本機から抜き取り、ケースに入れてください。

CDの演奏について

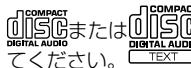
- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

⚠警告

本機を分解したり改造したりしないでください。事故や火災、感電の原因となります。

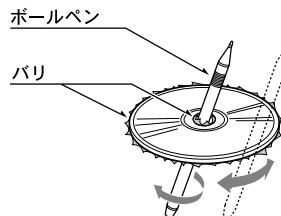
⚠注意

本機は、シングルCD(8cmCD)のご使用はできません。また、アダプターのご使用もできません。故障の原因となりますので、シングルCD(8cmCD)は挿入しないでください。

CDについて

COMPACT disc DIGITAL AUDIO または COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT マークのついたCDを使用してください。

- ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。
- CD-R/RWで記録されたディスクでも、記録状態などにより、ご使用になれない場合があります。

■取扱い上のご注意

- CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。また、文字などを記入しないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 新しいCDには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。CDにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

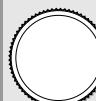
本体部

オープンボタン
• フリップダウンパネルを開けます。

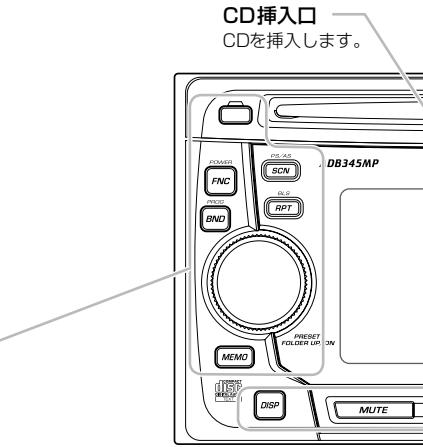
ファンクションボタン
• 電源を入れ、各モードに切り換えます。
• 電源を切るときは押し続けます。

バンドボタン
• ラジオモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続けて自動選局か手動選局に切り換えます。
• CD/MP3 モード時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)
• テープモード時は、演奏面を切り換えます。

スキャンボタン
• CD/MP3 モード、テープモード時に、約 10 秒間ずつスキャン演奏します。
• ラジオモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

リピートボタン
• CD/MP3モード、テープモード時に繰り返し演奏します。
• テープモード時に押し続ける(約 1 秒間)と、ブランクスキップ演奏します。

プリセットノブ
• ラジオモード時は、選局します。
• CD/MP3 モード時はフォルダを切り換えます。
• EQモード時は、メニューを選択します。
• 各種設定(アジャストモード)時は、設定項目を選択します。

メモリーボタン
• プリセットメモリー等の切換 / 登録時に使います。

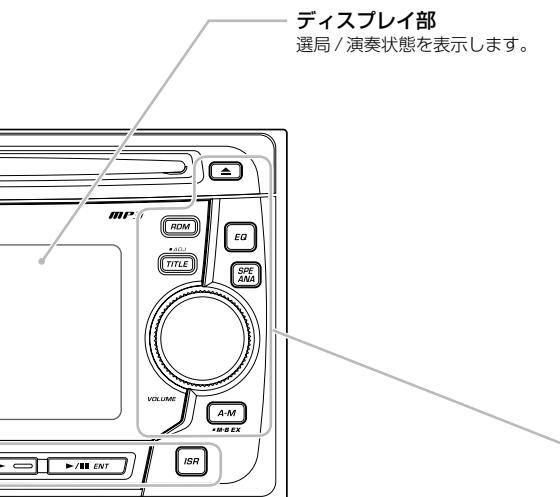
CD挿入口
CDを挿入します。

ディスプレイボタン
• ディスプレイ表示を切り換えます。
• 押し続けると(約 1 秒間)ユーザータイトル / ディスクタイトル表示等を切り換えます。

ミュートボタン
• 消音します。

サーチボタン
• ラジオモード時は選局を、CD/MP3 モード、テープモード時には選曲をします。また、各種の設定や選択に使います。

プレイ / ポーズボタン
• CD/MP3 モード、テープモード時は、演奏を一時停止します。また、各種設定の決定をします。

ISR ボタン
• 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR 機能)

ディスプレイ部
選局／演奏状態を表示します。

CDイジェクトボタン
・すでにCDが入っている時に押すと、CDがイジェクトされます。
・10秒以上押し続けると、本機がリセットされます。

ランダムボタン
・CD/MP3モード時には、ランダム演奏をします。

タイトルボタン
・CDモード時のディスクタイトルの入力／削除などに使います。
・押し続けて各種設定や調整をするときに使います。

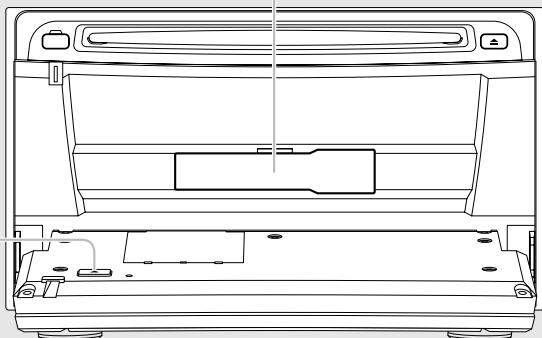
EQボタン
・EQモードを選択します。
・押し続けるとEQ機能をON/OFFします。

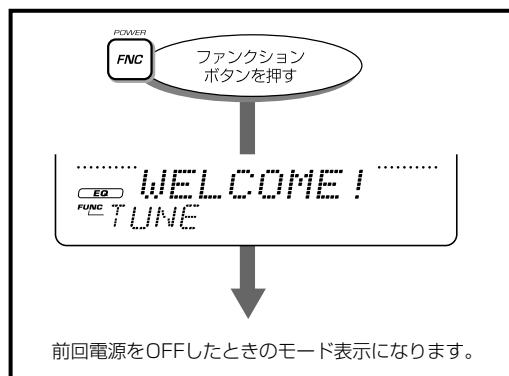
スペアナボタン
・スペアナパターンを切り換えます。

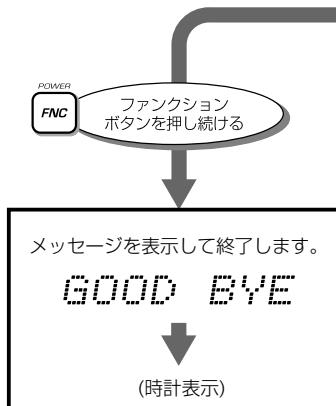
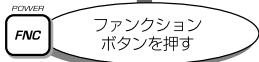
ロータリーボリューム
・音量の調整に使います。
・各種調整に使います。

オーディオモードボタン
・音質とバランス/フェダーを調整します。
・押し続ける(約1秒間)とマグナベースEX機能をON/OFFします。

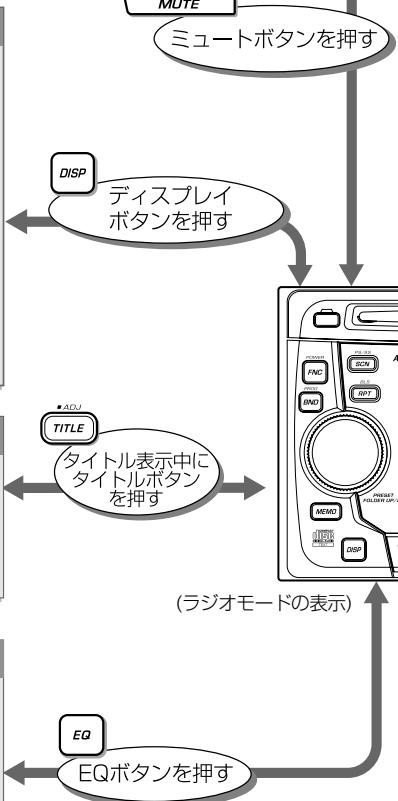
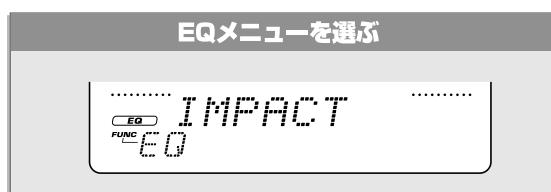
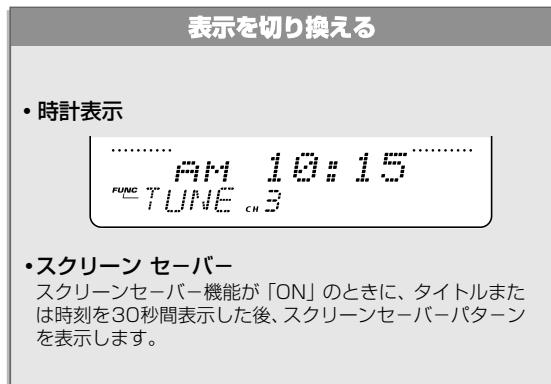
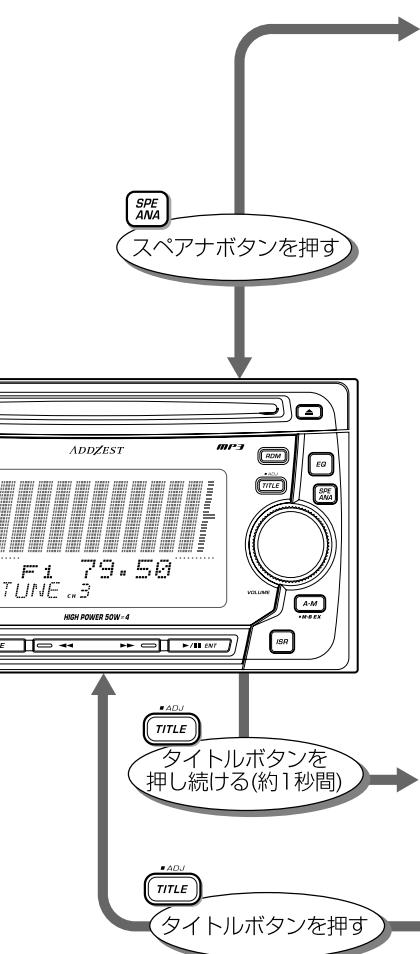
フリップダウンパネルオープン状態

カセットテープ挿入口
カセットテープを挿入します。

テープイジェクトボタン
すでにカセットテープが入っているときに押すと、カセットテープがイジェクトされます。

電源 ON/OFF 時のディスプレイ表示

電源ON/OFF 時のメッセージ表示について

初期設定では ON(表示する)に設定されています。設定を OFF にするには、「電源 ON/OFF 時のメッセージ表示を設定する(MESSAGE)」(46ページ)をご覧ください。

POWER
FNC
ファンクション
ボタンを押す
モードを切り換える
ファンクションボタンを押すたびに、次のように切り換わります。
• ラジオモード
F1 79.50
EQ
FUNC
TUNE
CH 3
• CDモード
01 00:15
CD
• テープモード
PLAY
TAPE
• AUXモード
AUX
AUX

各部の名称とはたらき

各種設定 / 調整時のディスプレイ表示

スペアナを表示する

スペアナボタンを押すたびに、９種類のパターンに切り換わります。

- パターン１(SND BEAT)

- パターン２(SND WAVE)
- パターン３(SND RISE)

⋮

- パターン９(S/A SCAN)
- スペアナ OFF (S/A OFF)

設定する(アジャストモード)

プリセットノブを回して調整項目を選び、ロータリーボリュームを回して調整内容を設定します。

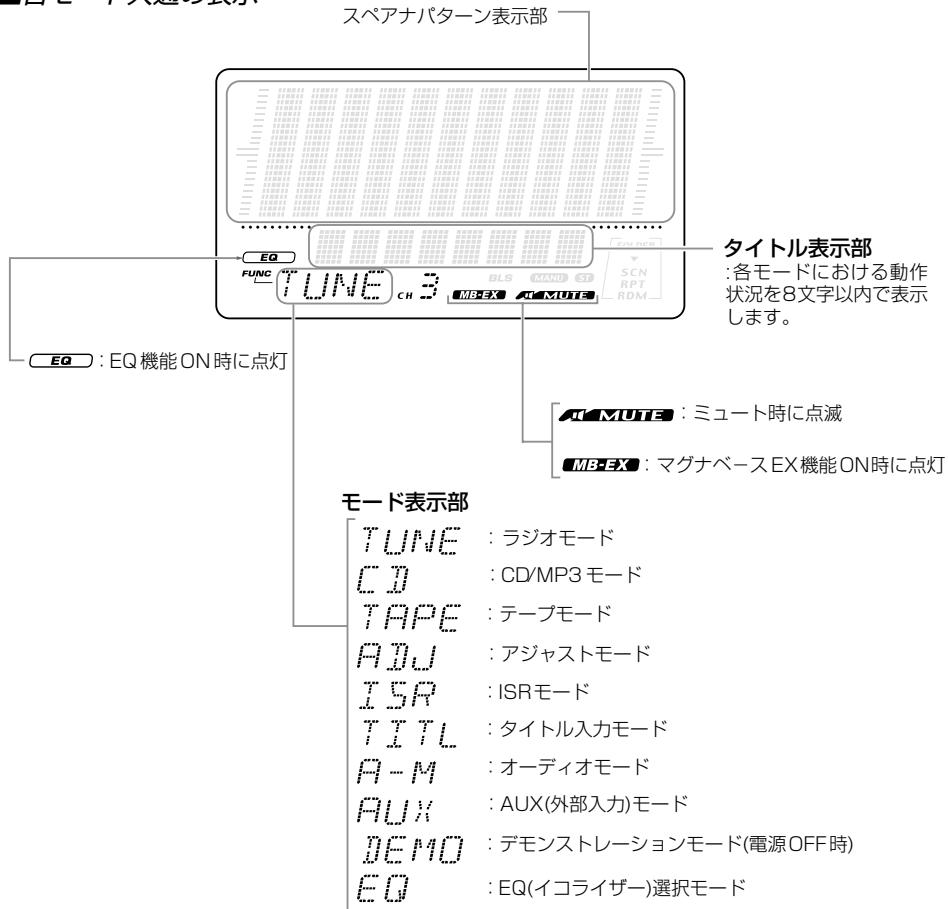
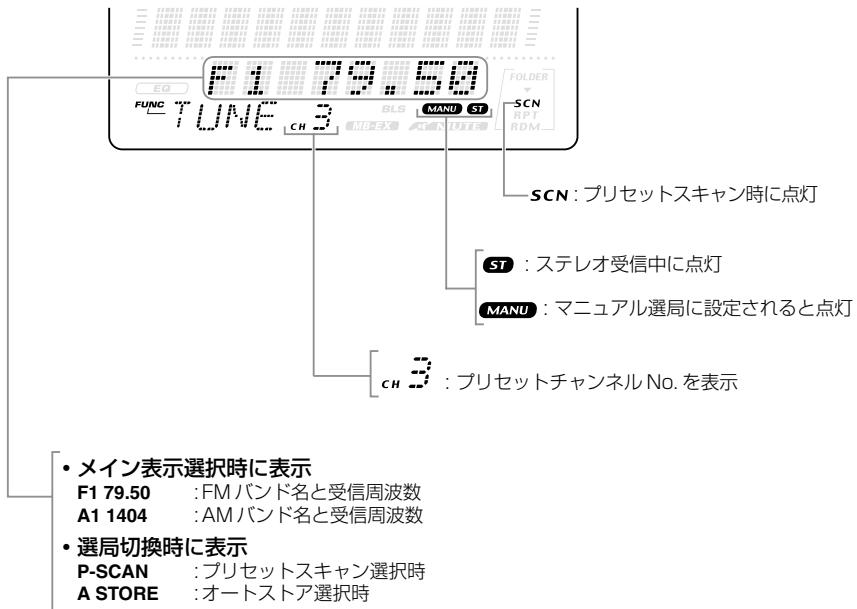
- **時刻の設定(CLOCK ⊟)**
- **スペアナ感度の設定(ANA SENS)**
- **スペアナ表示の速さ設定(ANA SPD)**
- **メッセージ表示の設定(MESSAGE)**
- **タイトルスクロール方法の設定(SCROLL)**
- **スクリーンセーバーの設定(SCRNSVR⊟)**
- **コントラストの設定(CONTRAST)**
- **外部入力レベルの設定(AUX SENS)**
- **デモンストレーションの設定(DEMO)**

各部の名称とはたらき

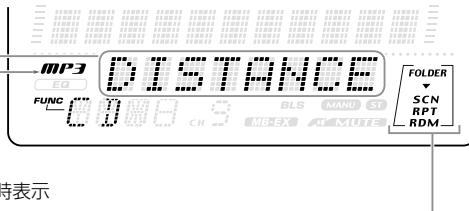
モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示

■ラジオモード時の表示

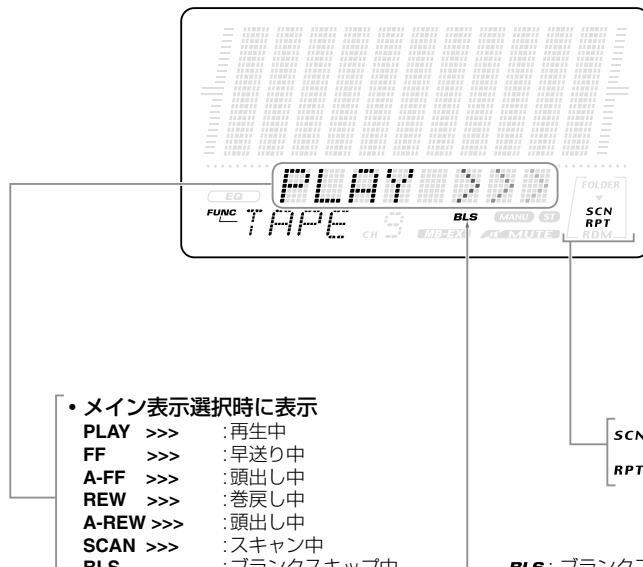
- **メイン表示選択時に表示**
  F1 79.50　:FM バンド名と受信周波数
  A1 1404　:AM バンド名と受信周波数
- **選局切換時に表示**
  P-SCAN　:プリセットスキャン選択時
  A STORE　:オートストア選択時

各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

■ CDモード時の表示

MP3：MP3ディスク演奏時表示

- **メイン表示選択時に表示**
  01 00:00 ：トラック No./ 演奏時間(分、秒)
- **タイトル表示選択時に表示**
  DISTANCE ：CDにおけるユーザータイトル表示例
  U NO TITL ：CDにおけるユーザータイトル未設定のとき
  D NO TITL ：CDテキスト対応ではないCD演奏時にディスクタイトル表示を選択したとき
  A NO TITL ：CDテキスト対応ではないCD演奏時にアーティスト表示を選択したとき
  T NO TITL ：CDテキスト対応ではないCD演奏時にトラックタイトル表示を選択したとき
  A NO TAG ：MP3ファイル演奏時におけるアーティストタグ未設定のとき
  T NO TAG MP3ファイル演奏時におけるタイトルタグ未設定のとき
  A L NO TAG ：MP3ファイル演奏時におけるアルバムタグ未設定のとき
- **選曲切換時に表示**
  ♪-SCAN ：スキャン演奏選択時
  ♪-REPEAT ：リピート演奏選択時
  ♪-RANDOM ：ランダム演奏選択時
  ▦-SCAN ：フォルダスキャン演奏選択時
  ▦-REPEAT ：フォルダリピート演奏選択時
  ▦-RANDOM ：フォルダランダム演奏選択時
- **その他の表示**
  LOADING ：ディスクロード/リロード時
  F-READ ：ファイルリード(ファイル読み込み)時
  PAUSE ：ポーズ(一時停止)中
  EJECT ：イジェクト時
  NO DISC ：ディスクがないとき
  ERROR2 ：エラー発生時

FOLDER ：フォルダスキャン /フォルダリピート/フォルダランダム演奏のときに点灯
SCN ：スキャン演奏 /フォルダスキャン演奏のときに点灯
RPT ：リピート演奏 /フォルダリピート演奏のときに点灯
RDM ：ランダム演奏 /フォルダランダム演奏のときに点灯

■テープモード時の表示

- **メイン表示選択時に表示**

PLAY >>>	:再生中
FF >>>	:早送り中
A-FF >>>	:頭出し中
REW >>>	:巻戻し中
A-REW >>>	:頭出し中
SCAN >>>	:スキャン中
BLS	:ブランクスキップ中

- **選曲切換時に表示**

SCAN	:スキャン演奏選択時
REPEAT	:リピート演奏選択時
BLS	:ブランクスキップ時
SIDE-1(SIDE-2)	:テープ走行方向切換時

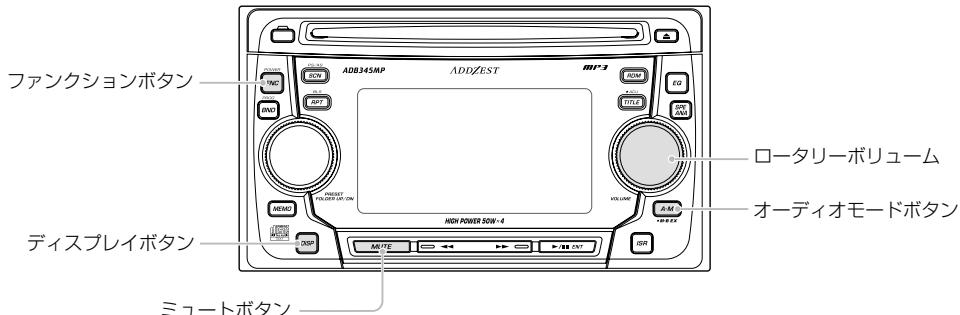
- **その他の表示**

LOADING	:カセットロード / リロード時
PAUSE	:ポーズ(一時停止)中
EJECT	:イジェクト時
NO CASS	:カセットがないとき
ERROR	:エラー発生時

SCN：スキャン演奏のときに点灯

RPT：リピート演奏のときに点灯

BLS：ブランクスキップ 設定時に点灯

基本の操作

電源を入れる

1 ファンクションボタンを押す

POWER

→前回の操作終了時のモードが表示されます。
- 時刻の設定は、24ページをご覧ください。

ご注意

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

ファンクションボタンを押し続けてください。(約 1 秒間)

モードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押す

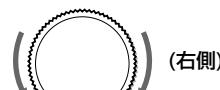
POWER

→押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ → CD/MP3 → テープ → AUX

- CDモードでディスクが入っていないときは「NO DISC」を表示し、テープモード時にテープが入っていないときは「NO CASS」を表示します。

音量を調節する

1 ロータリーボリュームを回す

→右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。

⚠注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

マグナベースEXをON/OFFする

小音量でお聴きになるときは…
小音量でお聴きになるときには、低音を強調するマグナベース EX の自然な音質をおすすめします。

1 **オーディオモードボタンを押し続ける(約 1 秒間)**

→ディスプレイの「MB-EX」が点灯します。

■ OFF するには…

もう一度押し続けてください。(約 1 秒間)

音を消す(ミュート)

1 **ミュートボタンを押す**

MUTE

→ディスプレイの「MUTE」が点滅します。

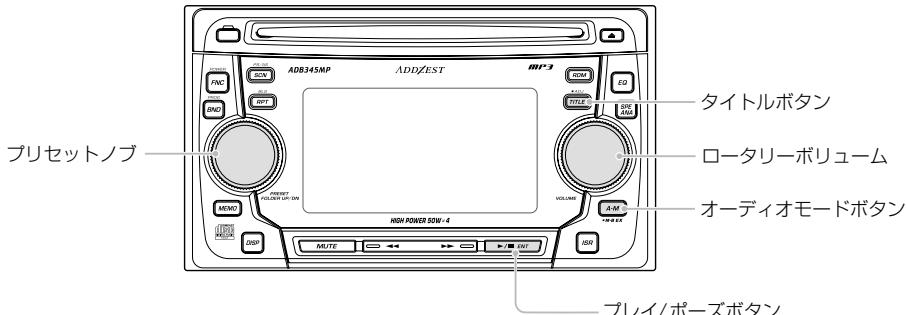
■ もとの音量に戻すには…

もう一度ミュートボタン押してください。

表示を切り換える

1 **ディスプレイボタンを押して表示を選ぶ**

→押すたびに、次のように切り換わります。

▌基本の操作

時刻を合わせる

時計表示について…
本機は、車のエンジン作動時（ACC ON 時）に時計を表示します。
時計は12 時間表示です。

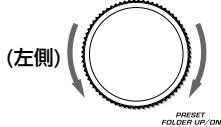
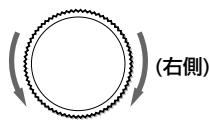
1 タイトルボタンを押し続ける（約 1 秒間）

→「**CLOCK E**」が表示されます。

2 プレイ/ポーズボタンを押して、時計を表示させる

►/❚❚ ENT

→「**AM 1:00 E**」を表示し、時刻設定モードになります。
- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

3 プリセットノブを回して、時または分を選ぶ

4 ロータリーボリュームを回して、時刻を合わせる

5 プレイ/ポーズボタンを押す

→「**CLOCK E**」を表示して時刻が設定されます。

ご注意

- 点検や修理などでバッテリーをはずしたときには、もう一度時計合わせをしてください。

6 タイトルボタンを押して元のモードに戻る

音質を調整する

EQ機能が「**ON**」のときは、調整できません。「EQメニューを選ぶ」(41 ページ)で調整してください。

1 オーディオモードボタンを押す

A-M
■M-B EX

→タイトル表示部に「**BASS 0**」を表示します。EQが「**ON**」のときは「**BAL 0**」を表示します。

2 オーディオモードボタンを押して、バス(BASS)/ミッド(MID)/トレブル(TREB)調整を選ぶ

A-M
■M-B EX

→押すたびに、次のように切り換わります。

バス調整 BASS 0　調整範囲は−7〜+7です。
↓
ミッド調整 MID 0　調整範囲は−7〜+7です。
↓
トレブル調整 TREB 0　調整範囲は−7〜+7です。
↓
バランス調整(BAL 0)
↓
フェダー調整(FAD 0)
↓
元のモード

3 ロータリーボリュームを回して調整する

4 元の表示になるまでオーディオモードボタンを押す

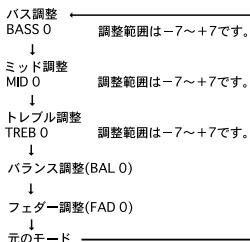
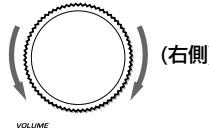
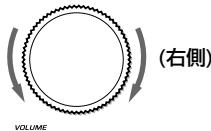
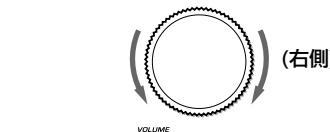
→元の表示に戻ります。

バランス/フェダーを調整する

1 オーディオモードボタンを押す

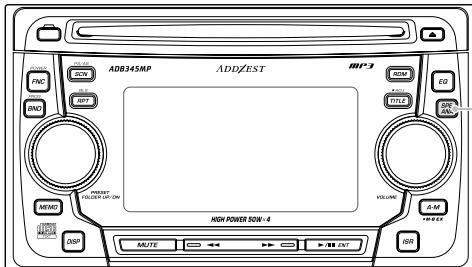
→タイトル表示部に「**BASS 0**」を表示します。EQが「**ON**」のときは「**BAL 0**」を表示します。

2 オーディオモードボタンを押して、バランス(BAL)/フェダー(FAD)調整を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

3 ロータリーボリュームを回して調整する

●左右のスピーカー(バランス)の調整
→右に回すと、右のスピーカーの音が強調され、左に回すと左のスピーカーの音が強調されます。

●前後のスピーカー(フェダー)の調整
→右に回すと、前のスピーカーの音が強調され、左に回すと後のスピーカーの音が強調されます。

4 元の表示になるまでオーディオモードボタンを押す

→元の表示に戻ります。

スペアナパターンを切り換える

スペクトラムアナライザー(スペアナ)とは…

周波数分析のことで、いくつかの周波数のサウンドレベルをディスプレイに表示します。本機は、９種類のパターンから、お好みにより選ぶことができます。

- 初期設定は、「**SND BEAT**」です。

1 スペアナボタンを押す

→ 押すたびに、スペアナパターンが切り換わります。スペアナパターンについては、次ページをご覧ください。

＊ スペクトラムアナライザーのサウンドレベル表示は、次のようなときには表示しません。
- ラジオモード時の選局中、プリセットスキャン中、オートストア中。
- エラー表示中。
- 一時停止(ポーズ)中。
- テープモード時の早送り、巻戻し中。
- 「NO DISC」および「NO CASS」表示中。

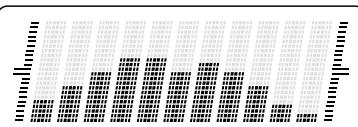
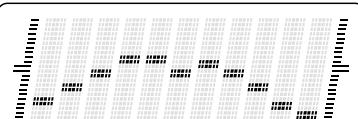
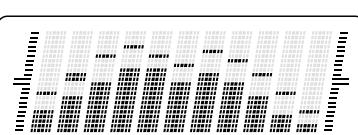
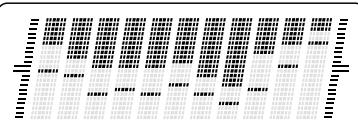
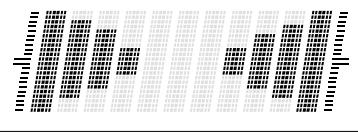
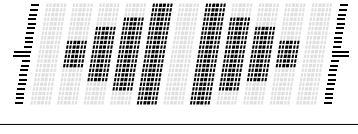
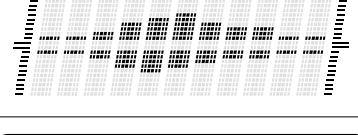
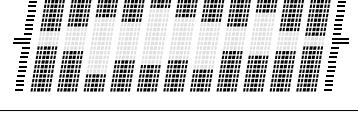
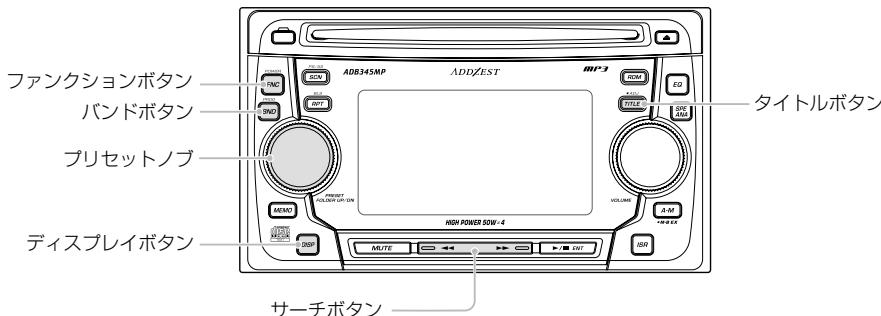
■ スペクトラムアナライザーの感度について…

スペクトラムアナライザーの感度(SENSITIVITY)は、パターン表示の感度です。感度を切り換えることで音量が変わることはありません。

初期設定は「**MID**」です。設定のしかたは、「スペクトラムアナライザーの感度を設定する(ANA SENS)」(45ページ)をご覧ください。

■ スペアナ表示の速さについて…

スペアナ表示の速さを３種類(HIGH、MID、LOW)に切り換えることができます。初期設定は「**LOW**」です。設定のしかたは、「スペアナ表示の速さを設定する(ANA SPD)」(45ページ)をご覧ください。

スペアナパターンについて

パターン１ (SND BEAT)	
パターン２ (SND WAVE)	
パターン３ (SND RISE)	
パターン４ (SND SNOW)	
パターン５ (CROSS)	
パターン６ (EXPAND)	
パターン７ (HORIZON)	
パターン８ (SHADOW)	
パターン９ (S/A SCAN)	パターン１から８のスペアナパターンを順次切り換えて表示します。
スペアナ OFF (S/A OFF)	スペアナパターンを表示しません。

タイトル表示を切り換える

タイトル表示について…

MP3再生時に、フォルダ名、ファイル名、TAG情報をディスプレイに表示します。CD/CDテキスト再生時に、ディスクにあらかじめ登録されているユーザータイトル、ディスクタイトル、トラックタイトル、アーティスト名を、ディスプレイに表示します。

CD テキストを作成する場合は、言語の指定を「英語」で書き込んでください。「日本語」で書き込むと正しく表示されません。詳しくは書き込みソフトの取扱説明書をご覧ください。

1 タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押し続ける（約 1 秒間）

→ ディスプレイボタンを押し続けるたびに、次のように表示が切り換わります。

• CD再生時

ユーザータイトル（CDのみ）
↓
ディスクタイトル（CDテキスト）
↓
アーティスト名（CDテキスト）
↓
トラックタイトル（CDテキスト）
（→ユーザータイトルに戻る）

• MP3再生時

フォルダ名
↓
ファイル名
↓
アルバムTAG
↓
アーティストTAG
↓
タイトルTAG
（→フォルダ名に戻る）

• CDテキスト対応ではないCDを演奏した場合は、
ユーザータイトル　：**U NO TITL**
ディスクタイトル　：**D NO TITL**
アーティスト名　：**A NO TITL**
トラックタイトル　：**T NO TITL**
と表示されます。

• TAG 情報が入っていないMP3 ファイルの場合は、
アルバムタグ　：**A L NO TAG**
アーティストタグ　：**A NO TAG**
トラックタグ　：**T NO TAG**
と表示されます。

タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて…

タイトルスクロールは、「タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL)」(46 ページ)で選択したスクロール方法に従い表示します。

• 「**ON**」：自動でスクロールを開始し、スクロールし続けます。
• 「**OFF**」：タイトルボタンを押すとスクロールします。

以下の記載は、「**OFF**」に設定されているときの操作手順です。

1 タイトルが表示されているときに、タイトルボタンを押す

→ タイトルが左にスクロールし、タイトルの末尾まで表示すると、最初の８文字表示に戻ります。

ご注意

以下の設定のときにタイトルボタンを押すと、タイトル入力モードになり、タイトルスクロールはしません。

• CDのユーザータイトルを選択しているとき

ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ

1 ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ → CD/MP3 → テープ → AUX
（AUX の次はラジオに戻る）

受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2 または AM1、AM2 を選ぶ

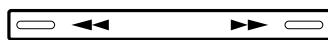
→押すたびに、次のように切り換わります。

FM1(F1) → FM2(F2) → AM1(A1) → AM2(A2)
（AM2(A2) の次は FM1(F1) に戻る）

自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける（約 1 秒間）

→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチボタンの◄◄または►►を押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける（約 1 秒間）

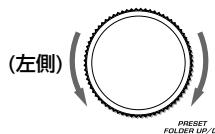
→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

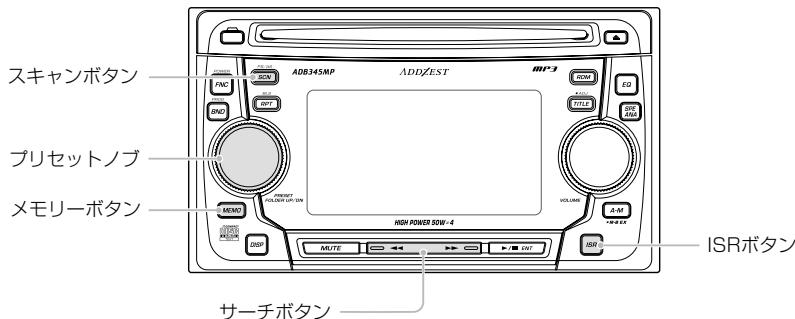
2 サーチボタンの◄◄または►►を押して、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。
- ステップ選局のときは、サーチボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチボタンを押し続けると、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

プリセット選局について…
あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 プリセットノブを回して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイにプリセットNo.を表示します。
- メモリーするときは、「プリセットメモリーする」(次ページ)をご覧ください。

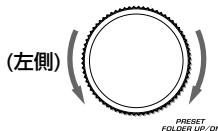
▌ラジオ放送を聴く

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…
プリセットメモリーできるのは、ＦＭ１、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 サーチボタンの◄◄または►►を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

2 メモリーボタンを押す

→ディスプレイの「**CH**」が点滅します。

3 プリセットノブを回して､登録したいメモリー番号を選ぶ

4 メモリーボタンを押し続ける(約１秒間)

MEMO

→登録されると、ディスプレイにプリセットNo. を表示します。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について・・・
自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 スキャンボタンを押し続ける(約２秒間)

→タイトル表示部に「**A STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo. を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリー（1～6）に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が６局に満たない場合は、低い周波数に戻って登録をします。また､自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は､それまでの登録内容が残ります。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…
プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されている放送局を順に受信します。

1 スキャンボタンを押す

→ タイトル表示部に「 **F1 P-SCAN** 」を表示し、モード表示部にプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- プリセットスキャンはFM1,FM2あるいはAM1,AM2のプリセットメモリーに登録している放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)とオートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう1度、スキャンボタンを押してください。

→ スキャンボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…
どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。(初期設定では、AM1620kHzの交通情報が登録されています)

1 ISRボタンを押す

→ 初期設定時は、タイトル表示部に受信周波数(「**AM 1620**」)を、モード表示部に「**ISR**」を表示し、ISRメモリーに登録されている放送局を選局します。

■ 元のモードに戻すには…

もう1度ISRボタンを押してください。

■ ISRメモリーに登録するには…

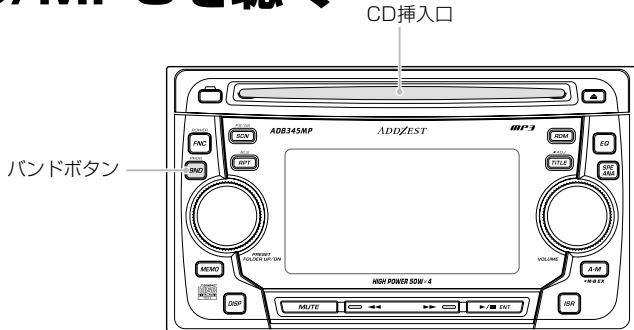
ラジオモードで、登録したい放送局を選局し、ISRボタンを押し続け(約1秒間)てください。

→ ISRメモリーに登録されます。

本機の操作

CD/MP3を聴く

CD挿入口

バンドボタン

MP3について

■MP3とは

- MPEG 規格のオーディオ・レイヤー 3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。
  オリジナルの音声データを約 1/10 のデータ量にまで圧縮でき、更に高音質なのが特長です。
  1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

■MP3ディスク作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

- MP3の場合のサンプリングレートは、8kHz～48kHz、ビットレートは 8kbps ～ 320kbps/VBR。

ファイル拡張子

- ＭＰ３ ファイルには必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.mp3」を付けてください。MP3(mp3)以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。また、拡張子に大文字と小文字が混在する場合には正常に再生できません。
- MP3 データーでないファイルは再生できません。演奏時間表示部に「ーー：ーー」と点滅表示します。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- MP3ファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定はISO9660 レベル 1、2、JOLIET、ROMEOを選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- 本機はパケットライト方式(ディスクの空き容量に応じてトラックをさらに分割して書き込みする方式)には対応していません。
- MP3再生ではフォルダー名、ファイル名をタイトルとして表示することが可能ですが、名称は半角英数で64文字(ファイル名は拡張子を含む)までとなります。また、JOLIETフォーマットで書き込んだ場合は、32文字までとなります。それ以外の文字、文字数を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。

フォルダー構造

- フォルダーが 8 階層を超えたディスクに関しては、ISO9660に違反していますので再生できません。

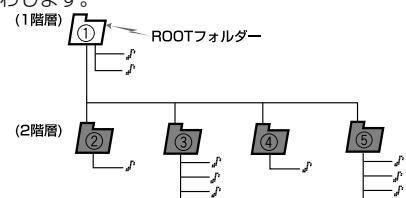
TAG 表示について

- TAGのないMP3フォルダーは「**NO TAG**」が表示されます。
- MP3の場合は、ID 3-TAG V2.3/2.2/1.1/1.0に対応しています。TAG 表示は、V2.3/2.2 を優先します。
- TAGで表示可能な文字は、半角英数、半角カナ、半角記号、ASCII文字で、64 文字までです。

ファイル/フォルダー数

- ファイル数とフォルダー数の合計が最大256まで認識します。(但し、フォルダー数の上限は、128以内）ファイル数とフォルダー数の合計が256以上の場合には、それ以上の曲は再生できません。
- 曲の演奏はディスクに記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)
- エンコーダーソフトによっては、記録時に若干ノイズが発生する場合があります。
- ROOT フォルダーは必ず作成されます。ROOT フォルダーも1つのフォルダとしてカウントされます。

■MP3のフォルダー作成について

- MP3 のフォルダーは 8 階層まで作成できますが、以下の例のように、作成すると収録した曲の管理が容易になります。図の数字は再生順をあらわします。

演奏するディスクの種類を設定する(マルチセッション機能)

マルチセッション機能について…

通常のCDタイプの曲とMP3タイプの曲が混在しているディスクのときに、どのタイプで記録された曲を演奏するかを選択できます。

• 初期値は、「**CD**」です。

1 バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

→ 押し続けるたびにCDタイプ/MP3タイプを切換えます。切換え時にタイトル表示部に以下のように表示します。

・CDタイプ選択時の表示［ **M-S　CD** ］
↕
・MP3タイプ選択時の表示［ **M-S　MP3** ］

• 演奏できる記録タイプは以下のようになります。

ディスク＼設定	CDに設定	MP3に設定
CD/MP3混在	CDを演奏	MP3を演奏
CDタイプのみ	CDを演奏	CDを演奏
MP3タイプのみ	MP3を演奏	MP3を演奏

• 設定した後は、1度ディスクを取り出して再挿入してください。
• CD/MP3の混在したディスクを演奏した場合にCDに設定すると、MP3タイプの曲は、音がでません。
• MP3ディスクを再生すると、ディスプレイの「**MP3**」が点灯します。

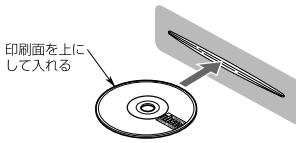
CDを入れる

ディスク・イン・プレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであれば、CDを入れると自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

⚠注意

• CD挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
• セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

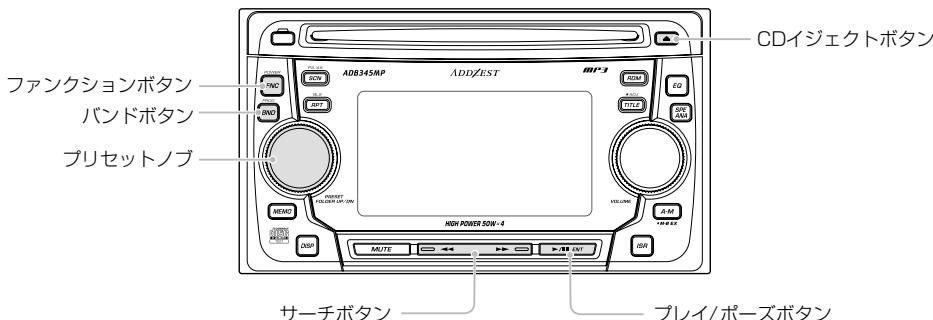
1 CD挿入口にCDを入れる

→ 演奏が始まります。

• CDは、タイトル等が印刷されている面を上側にして入れてください。
• すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。
• 本機は、COMPACT disc DIGITAL AUDIO または COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT 表示のあるコンパクトディスク以外は使用できません。また、ハート形や八角形などの特殊形状のCDは、ご使用できません。
• CD-R/RWで記録されたディスクでも、記録状態などにより、ご使用になれない場合があります。

■ シングルCD(8cmCD)について…

⚠注意

• 本機はシングルCD(8cmCD)のご使用はできません。
• アダプターのご使用もできません。故障の原因となりますので、シングルCD(8cmCD)は挿入しないでください。

CD/MP3を聴く

CDを取り出す

バックアップイジェクト機能について…

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、CDを取り出すことができます。

1 CDイジェクトボタンを押す

→ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

•CD をイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれます。（オートリロード機能）

ご注意

•オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。

すでに入っているCDを聴く

1 ファンクションボタンを押して CD/MP3 モードを選ぶ

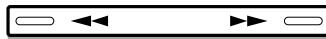
→CD/MP3モードになると、自動的に演奏が始まります。

•ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。

ラジオ → CD/MP3 → テープ → AUX

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの ►► を押す

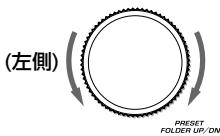
2 前の曲を聴くときは、サーチボタンの ◄◄を 2 回押す

→►► を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

→◄◄を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

•曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの◄◄を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

フォルダを切り換える(フォルダ選択モード)

フォルダ選択モードについて
MP3ディスク再生時、MP3ファイルのあるフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から演奏します。

1 プリセットノブを回してフォルダを切り換える

→フォルダネームが表示されます。左に回したときは前のフォルダに、右に回したときは次のフォルダに移ります。

■ *曲を選ぶには…*

サーチボタンの◄◄または►►を押してください。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチボタンの►►を押し続ける

2 早戻しするときは、サーチボタンの◄◄を押し続ける

→MP3ディスクの場合は、サーチ開始および曲間で多少時間がかかります。また、演奏時間表示に誤差が生じる場合があります。

演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズボタンを押す

►/❚❚ ENT

→タイトル表示部に「**PAUSE**」を表示します。

■ *続けて演奏を聴きたいときには…*

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

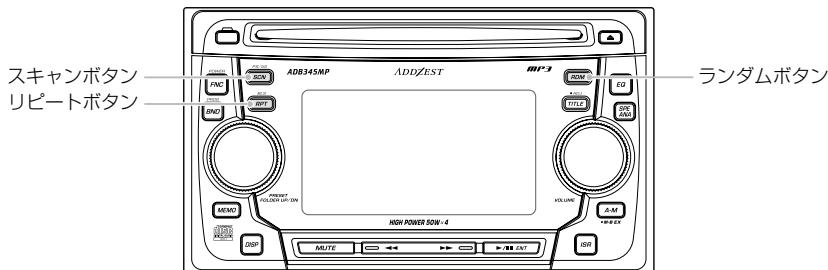
最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…
演奏しているCDの最初の曲から演奏をはじめます。

1 バンドボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

本機の操作

CD/MP3を聴く

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…
CDに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す

→ディスプレイの「**SCN**」が点灯し、タイトル表示部に「♪-**SCAN**」を表示して、スキャン演奏をします。

■ スキャン演奏を解除するには…

もう1度スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「**SCN**」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

• スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

聴きたいフォルダを探す(フォルダスキャン演奏)

フォルダスキャン演奏について…
MP3ディスク内の全てのフォルダの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(1秒間)

→ディスプレイの「**FOLDER**」と「**SCN**」が点灯し、タイトル表示部に「▦-**SCAN**」を表示して、フォルダスキャン演奏をします。

■ フォルダスキャン演奏を解除するには…

もう1度スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「**FOLDER**」と「**SCN**」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

• フォルダスキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について…
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す

→ディスプレイの「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「♪-**REPEAT**」を表示して、リピート演奏をします。

■ *リピート演奏を解除するには…*

もう1度リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RPT**」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について
CDに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す

→ディスプレイの「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「♪-**RANDOM**」を表示して、ランダム演奏をします。

■ *ランダム演奏を解除するには…*

もう1度ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

フォルダ内の曲を繰り返し聴く(フォルダリピート演奏)

フォルダリピート演奏について…
演奏中のMP3フォルダ内の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(1秒間)

→ディスプレイの「**FOLDER**」と「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「■-**REPEAT**」を表示して、フォルダリピート演奏をします。

■ *フォルダリピート演奏を解除するには…*

もう1度リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**FOLDER**」と「**RPT**」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

ランダムに演奏を聴く(フォルダランダム演奏)

フォルダ ランダム演奏について
MP3ディスク内の全てのフォルダの全ての曲を順不同に演奏します。

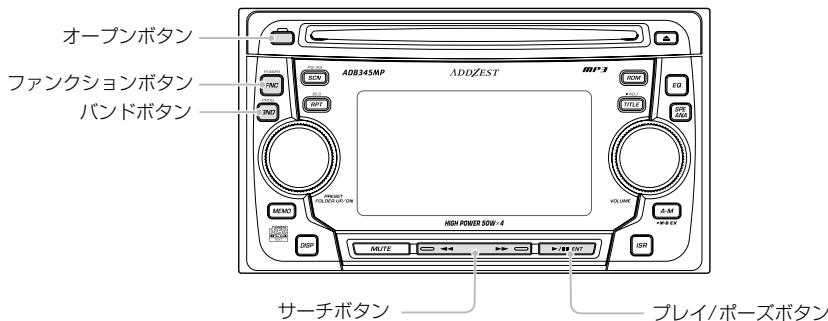
1 ランダムボタンを押し続ける(1秒間)

→ディスプレイの「**FOLDER**」と「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「■-**RANDOM**」を表示して、フォルダランダム演奏をします。

■ *フォルダランダム演奏を解除するには…*

もう1度ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**FOLDER**」と「**RDM**」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

本機の操作

カセットテープを聴く

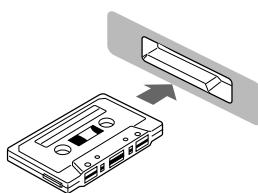
カセットテープを入れる

⚠ 注意

- テープ挿入口に手や指を入れないでください。また異物を入れないでください。
- テープがゆるんだり、変形したカセットテープは使用しないでください。

1 オープンボタンを押す

→ フリップダウンパネルが開きます。

2 テープ挿入口にカセットテープを入れる

→ 演奏が始まります。

- カセットテープは、テープ面を右側にして入れてください。
- すでにカセットテープが入っていると、入れられません。無理に入れないでください。

3 フリップダウンパネルを閉める

- カセットテープを演奏中は、必ずフリップダウンパネルを閉めてください。

カセットテープを取り出す

1 オープンボタンを押す

→ フリップダウンパネルが開きます。

2 テープ イジェクトボタンを押す

→ テープがイジェクトされます。

3 フリップダウンパネルを閉める

- カセットテープを取り出したら、必ずフリップダウンパネルを閉めてください。

すでに入っているカセットテープを聴く

1 **ファンクションボタンを押してテープモードを選ぶ**

→ テープモードになると、自動的に演奏が始まります。
• ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。

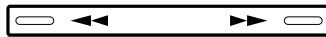
ラジオ → CD/MP3 → テープ → AUX

■ *モニター機能について…*

テープの早送り/巻戻し中や、頭出し中、APC動作中に、ラジオモードやCDモードに切り換えることができます。

早送り/巻戻しする

1 **早送りするときは、サーチボタンの►►を押す**

2 **巻戻しするときは、サーチボタンの◄◄を押す**

→ 早送りのときは、タイトル表示部に「**FF >>>**」を表示して、テープが早送りされ、終端にくると自動的に裏面の演奏をはじめます。

→ 巻戻しのときは、タイトル表示部に「**REW <<<**」を表示して、テープが巻戻しされ、終端にくると自動的に裏面の演奏をはじめます。

■ *早送り/巻戻しを解除するには…*

プレイ / ポーズボタンを押してください。

→ 再生に戻ります。

演奏を止める(一時停止)

1 **プレイ/ポーズボタンを押す**

►/▮▮ ENT

→ タイトル表示部に「**PAUSE**」を表示します。

■*続けて演奏を聴きたいときには…*

もう1度、プレイ / ポーズボタンを押してください。

カセットテープの演奏面を切り換える

1 **バンドボタンを押す**

PROG
BND

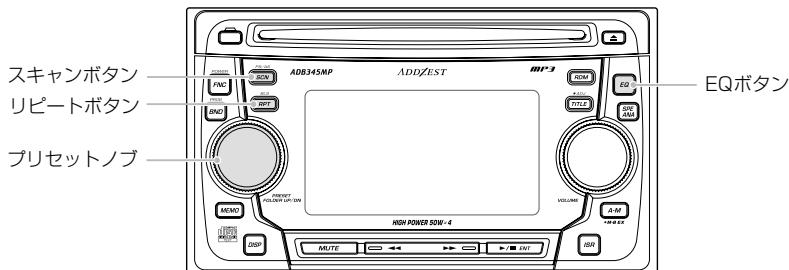
→ タイトル表示部に「**SIDE-2**」を表示して、演奏面を切り換えます。もう一度押すと「**SIDE-1**」を表示します。

曲の頭出しをする(APC 機能: AutoProgramControl)

1 **次の曲の頭出しをするには、サーチボタンの►►を続けて2回押す**

→ タイトル表示部に「**A-FF >>>**」を表示して、次の曲の頭出しをします。

2 **いま聴いている曲の頭出しをするには、サーチボタンの◄◄を続けて2回押す**

→ タイトル表示部に「**A-REW <<<**」を表示して、聴いている曲の頭出しをします。

カセットテープを聴く

曲間をとばして聴く(ブランクスキップ)

ブランクスキップについて…
カセットテープ演奏中に無録音部分が約12秒以上続くと、自動的にテープを早送りして、録音されている部分を頭出しする機能です。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

→ブランクスキップ機能が設定されて、ディスプレイに「**BLS**」が点灯します。
約12秒以上の無録音部分が続くと、タイトル表示部に「**BLS**」を表示して、スキップします。

■ ブランクスキップを解除するには…

もう1度リピートボタンを押し続けてください。(約1秒間)

→ディスプレイの「**BLS**」が消えます。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…
カセットテープに録音されている曲が約10秒間ずつ演奏される機能です。

1 スキャンボタンを押す

PS/AS
SCN

→ディスプレイの「**SCN**」が点灯し、タイトル表示部に「**SCAN >>>**」を表示して、スキャン演奏します。

■ スキャン演奏を解除するには…

もう1度､スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「**SCN**」が消えて、その曲が演奏されます。

繰り返し聴く(リピート演奏)

1 リピートボタンを押す

→ディスプレイの「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「**REPEAT**」を表示して、いま演奏している曲を繰り返し演奏します。

■ リピート演奏を解除するには…

もう1度､リピートボタンを押してください。

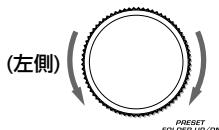
→ディスプレイの「**RPT**」が消えて、演奏している曲から通常の演奏になります。

EQを調整する

EQメニューを選ぶ

EQ機能について…
EQ(イコライザー)は、周波数特性などを補正・変更して、お好みの音質を作り出す機能です。

1 EQボタンを押す

2 プリセットノブを回して、EQメニューを選ぶ

● EQメニュー

機能名	内容
IMPACT	低域と高域を増強
B-BOOST	低域を増強
ACOUSTIC	中域を増強(低域と高域を減少)
FLAT	原音、フラットイコライジング

• CDやラジオなど、各モードごとにEQメニューをメモリーさせることはできません。

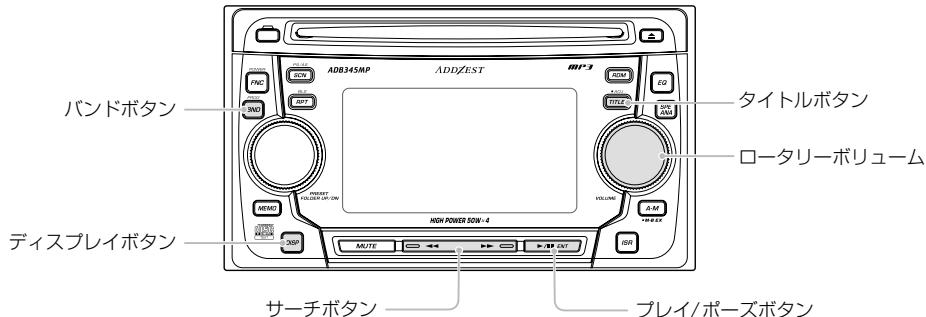
3 EQボタンを押して、元のモードに戻る

EQ機能をON/OFFする

1 EQボタンを押し続ける(約1秒間)

→ EQボタンを押し続けるたびにON/OFFが切り換わります。

• EQ機能がONになるとディスプレイの「EQ」が点灯します。

タイトルをつける

タイトルを入力する

タイトル入力について…
CDに10文字までのタイトルをつけ、演奏時に表示させることができます。(CDモード時)
入力できるタイトル数は、次の通りです。
• CDモード　　　　：50 タイトル

1 タイトルをつけたいCDを演奏する

2 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする

3 タイトルボタンを押す

→ ディスプレイのモード表示部に「**TITL**」が表示され、タイトル入力表示になります。

4 サーチボタンの◄◄または►►を押して、入力位置を決める

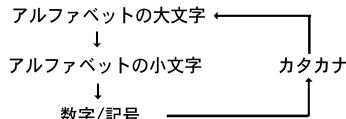
→ 点滅している文字位置が左右に移動します。

• 入力できる文字数は10文字です。

ご注意

• ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、CDイジェクトボタンを10秒以上押してリセットすると、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

5 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を切り換える

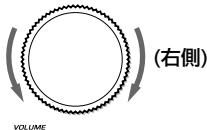
→ ディスプレイボタンを押すたびに、次のように文字の種類が切り換わります。

入力文字種類

• アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

• アルファベット小文字
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

• 数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ’ : ; ! ? α ＊ # $ % & ￥ ＋ － × / ＝( )〈 〉” → ← ↑ ↓ ↔ ↕ ♂ ♀ ★ ♥ ◆ ♯ ♭ ♪ ♪ ♪ ♪

• カタカナ
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ッ ャ ュ ョ ゛ ゜ ー「 」

6 ロータリーボリュームを回して、入力文字を決める

7 手順4～6を繰り返して、タイトルを入力する

8 プレイ / ポーズボタンを押し続ける（約 1 秒間）

►/❚❚ ENT

→ タイトルがメモリーされると、ディスプレイに「**MEMORY**」が表示され、元のモードに戻ります。

■ *タイトルメモリーがいっぱいになると…*

古いタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

タイトルを削除する

1 削除したいタイトルのCDを演奏する

2 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする

3 タイトルボタンを押す

→ ディスプレイのモード表示部に「**TITL**」が表示され、タイトル入力表示になります。

4 バンドボタンを押す

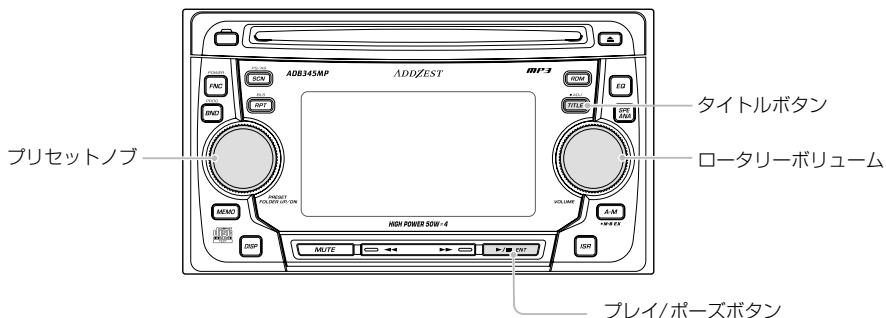
→ タイトルが消えます。

5 プレイ / ポーズボタンを押し続ける（約 1 秒間）

►/❚❚ ENT

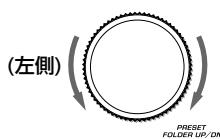
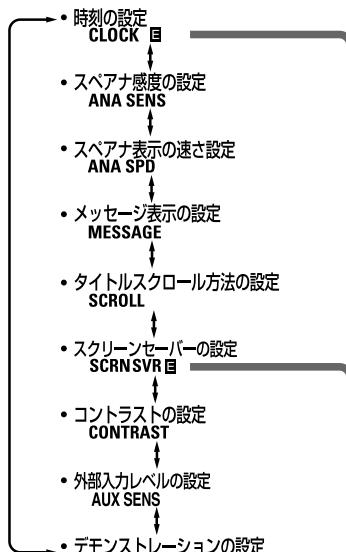
→ タイトルが削除され次のように表示されます。

• 「**U NO-TITL**」

設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ

1 タイトルボタンを押し続ける（約 1 秒間）

→ タイトル表示部に「**CLOCK E**」を表示して、アジャストモードになります。

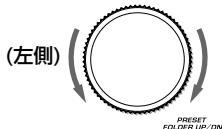
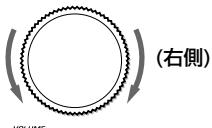
2 プリセットノブを回して、設定する項目を選ぶ

- プリセットノブを回すたびに、設定項目が右図のように切り換わります。
- 末尾にEの表示されていない項目名は、項目を選択してから約 2 秒後に、設定内容表示に切り換わります。
- 設定の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

スペクトラムアナライザーの感度を設定する(ANA SENS)

スペクトラムアナライザーの感度（SENSITIVITY）について…

スペアナ感度は、パターン表示の感度です。
本機は、3種類(HIGH,MID,LOW)の感度に切り換えることができます。

- 初期設定は、「**MID**」です。
- スペアナ感度を切り換えることによって、音量が変わることはありません。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回して、「ANA SENS」を選ぶ

3 ロータリーボリュームを回して、スペアナ感度を設定する

→ スペアナ感度は次のように切り換わります。

LOW ↔ MID ↔ HIGH

4 タイトルボタンを押す

→ 元のモードに戻ります。

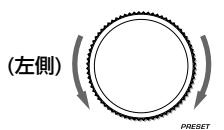
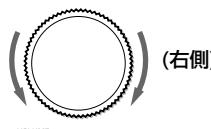
スペアナ表示の速さを設定する(ANA SPD)

スペアナ表示の速さ（ANA SPD）について…

スペアナ表示の速さは、パターンの切り換え表示の速さです。3種類(HIGH,MID,LOW)の速さに切り換えることができます。

- 初期設定は、「**LOW**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回して、「ANA SPD」を選ぶ

3 ロータリーボリュームを回して、スペアナ表示の速さを設定する

→ スペアナ表示の速さは次のように切り換わります。

LOW ↔ MID ↔ HIGH

4 タイトルボタンを押す

→ 元のモードに戻ります。

本機の操作

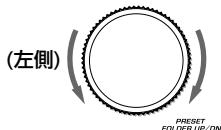
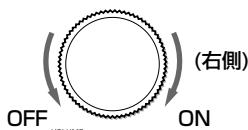
設定を変更する(アジャストモード)

電源ON/OFF時のメッセージ表示を設定する(MESSAGE)

メッセージ表示機能について…
電源ON/OFF時に、ディスプレイにメッセージを表示します。
本機では、お好みに合わせてこれらのメッセージの表示をON/OFFすることができます。

- 初期設定は、「**ON**」です。
- 設定をONにすると、電源を入れたときに「**WELCOME!**」、電源を切ったときに「**GOOD BYE**」を表示します。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回して、「MESSAGE」を選ぶ

3 ロータリーボリュームを回して「ON」、または「OFF」を選ぶ

4 タイトルボタンを押す

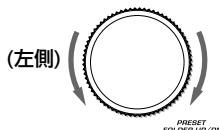
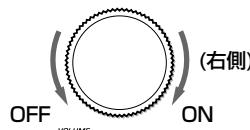
→元のモードに戻ります。

タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL)

タイトルスクロールについて…
タイトルスクロール方法をお好みに合わせて、設定することができます。

- 初期設定は、「**ON**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回して、「SCROLL」を選ぶ

3 ロータリーボリュームを回して「ON」、または「OFF」を選ぶ

→回すたびに、次のように表示が切り換わります。

ON (自動でスクロールします。)
↕
OFF (タイトルボタンを押すとスクロールします。)

4 タイトルボタンを押す

→元のモードに戻ります。

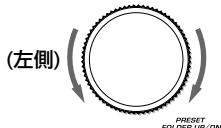
スクリーンセーバーを設定する(SCRNSVR)

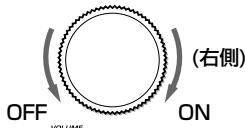
スクリーンセーバーについて…

約30秒間ボタンやダイヤル操作をしない場合、タイトル表示部にスクリーンセーバーを表示させることができます。

• 初期設定は、「**OFF**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回して、「SCRNSVR E」を選ぶ

3 プレイ/ポーズボタンを押す

4 ロータリーボリュームを回して「ON」、または「OFF」を選ぶ

5 タイトルボタンを押す

→ 元のモードに戻ります。

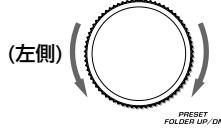
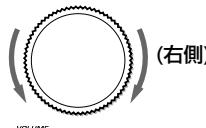
コントラストを設定する(CONTRAST)

コントラスト機能について…

ディスプレイのコントラスト(色合い)を本機の取付角度に合わせて調整することができます。

• 初期設定は、「**5**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回して、「CONTRAST」を選ぶ

3 ロータリーボリュームを回して、コントラストを調整する

→ コントラストの調整範囲は「0」〜「10」の範囲です。ディスプレイ表示の変化を見ながら設定してください。

4 タイトルボタンを押す

→ 元のモードに戻ります。

本機の操作

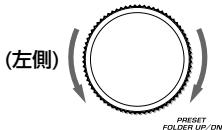
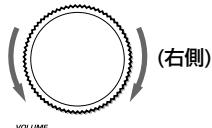
設定を変更する (アジャストモード)

外部機器の入力レベルを設定する(AUX SENS)

AUX入力レベルについて…
本機に接続された市販の機器（ヘッドホンステレオなど）の入力レベルを調整することができます。

• 初期設定は、「**MID**」です。

1 タイトルボタンを押し続け（約 1 秒間）て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回して、「AUX SENS」を選ぶ

3 ロータリーボリュームを回して、入力レベルを調整する

→ 回すたびに、次のように表示が切り換わります。

LOW ↔ MID ↔ HIGH

4 タイトルボタンを押す

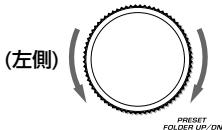
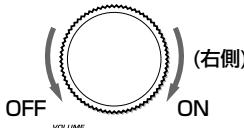
→ 元のモードに戻ります。

デモンストレーションモードを設定する(DEMO)

デモンストレーションモードについて…
本機の電源がオフのときに、本機の機能をディスプレイ表示することができます。

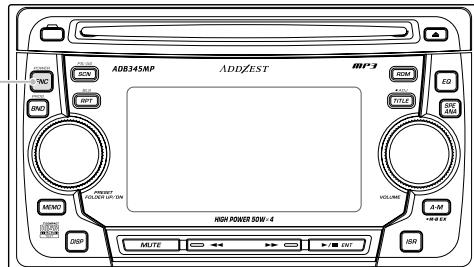
• 初期設定は、「**ON**」です。

1 タイトルボタンを押し続け（約 1 秒間）て、アジャストモードにする

2 プリセットノブを回して、「DEMO」を選ぶ

3 ロータリーボリュームを回して「ON」、または「OFF」を選ぶ

4 タイトルボタンを押す

→ 元のモードに戻ります。

その他の外部機器を操作する

本機の操作

携帯用オーディオを聴く (AUXモード)

AUXモードについて…
本機に市販のヘッドホンステレオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。

1 ファンクションボタンを押してAUXモードを選ぶ

→ 押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ → CD/MP3 → テープ → AUX

■ 外部機器の入力レベルを調整するには…

「外部機器の入力レベルを設定する」48ページをご覧ください。

■ AUX入力の接続のしかた

本機のAUX入力RCAピンジャック(赤/白)へ市販のコードを使用して、携帯用オーディオを接続してください。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう１度次のことをお調べください。

	症状	原因	処置
共通	電源が入らない/音が出ない	ヒューズが切れている	入っていたヒューズと同じ容量のヒューズと交換してください。再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コード、またはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど、接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない/またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	CD イジェクトボタンを10秒以上押して本体をリセットしてください。 リセットをするとメモリーしたタイトル等が全て消去されます。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局で選局してください。
CD/MP3	音が出ない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクに MP3 ファイルがない	ディスクにMP3ファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルが MP3 ではない	正しくエンコードされたMP3ファイルをご使用ください。
		ファイルシステムが正しくない	ISO9660 レベル 1、2、JOLIET、ROMEO でファイルを作成してください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		MP3ファイルが正しくエンコードされていないない	正しくエンコードされたMP3ファイルをご使用ください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音がよくない	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴がつくことがある	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	CD が入らない	CD以外のディスクなどが入っている	イジェクトボタンを押して取り出してからCDを入れてください。
テープ	音質が悪い	ヘッドが汚れている	ヘッドの汚れをクリーニングテープなどで取り除いてください。
	再生の途中で、再生面が自動的に切り換わってしまう	カセットテープが粗雑に巻かれている	早送りや巻戻しをして、カセットテープの巻きを均一にしてください。
	頭出しが正しく動作しない	曲間の空きが約４秒間より少ない	約4秒以上、曲間に空きがあるカセットテープを使用してください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CD/MP3	ERROR2	CDデッキ内のCDが引っかかって、イジェクトされないときの表示	CD メカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	CDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCD と交換してください。
	ERROR6	CDデッキ内のCDが裏返しのときや、再生できないCD-R 再生のときの表示	正しいCDを入れてください。
テープ	ERROR	カセットテープが引っかかって、イジェクトされないときの表示	テープメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。

上記以外のエラーが表示されたときは、CDイジェクトボタンを10秒以上押して、本体をリセットしてください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕様

■CDプレーヤー部

周波数特性　：10 Hz～20kHz ± 1dB
S/N比　：100dB
ダイナミックレンジ　：95dB
高調波ひずみ率　：0.01%

■カセットプレーヤー部

周波数特性　：30 Hz～18kHz
チャンネルセパレーション　：45dB(1kHz)
ワウフラッター　：0.06%(WRMS)
早送り・巻戻し時間　：約110秒(C-60)

■FMチューナー部

受信周波数　：76.0MHz～90.0MHz
実用感度　：9dBf
S/N比　：70dB
周波数特性　：30Hz～15kHz ± 3dB
分離度　：35dB (1kHz)
高調波ひずみ率　：0.4% (1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数　：522 kHz～1,629kHz
実用感度　：28dBμ
S/N比　：50dB

■MP3部

MP3デコード
　：MPEG-1、オーディオレイヤー３準拠
サンプリングレート
　：MPEG-1　：32kHz、44.1kHz、48kHz
　：MPEG-2　：16kHz、22.05kHz、24kHz
　：MPEG-2.5　：8kHz、11.025kHz、12kHz
ビットレート
　：MPEG-1　：32k～320kbps/VBR
　：MPEG-2　：8k～160kbps/VBR
　：MPEG-2.5　：8k～160kbps/VBR
セクタ構造
　：CD-ROMモード1、モード2-フォーム1（自動判別）
論理フォーマット
　：ISO9660レベル1、2/JOLIET/ROMEO
フォルダ構造
　：8階層
フォルダ数
　：最大128
ファイル数
　：フォルダ数と合計で最大256
ファイル名/フォルダ名
　：半角英数で64文字/32文字(JOLIETの場合)

■EQ部

EQ　：4モード

■オーディオ部

定格出力　：17W×4(20Hz～20kHz、1%、4Ω)
最大出力　：50W × 4
適合インピーダンス　：4Ω(4Ω～8Ω)
トーンコントロール
BASS　：± 10dB(100Hz)
MID　：± 10dB(1kHz)
TREBLE　：± 10dB(10kHz)
マグナベースEX　：＋8dB(100Hz)
(音量ボリューム－32dB)　：＋6dB(10kHz)

■共通部

電源電圧　：DC14.4V
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：3.0A (1W時)
ヒューズ定格　：15A
外形寸法　：178(W)×100(H)×183(D)mm
(取付寸法：156.5(D)mm)
質量　：2.1 kg

■付属品

・取扱説明書　1部
・取付説明書　1部
・保証書　1部
・修理相談窓口リスト　1部
・電源コード　1本
・セムス六角ボルト　8本
・サラネジ(M5 × 8)　8本

＊ これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より１年です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合は、保証書の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客さまの要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後６年間保有しています。

クラリオン株式会社

本　　社　　〒112-0001　東京都文京区白山5-35-2
お客様相談室　TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)
(土・日・祝・祭日を除く 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30)

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ ……………… ご購入年月日、購入店名などを記入しておくと、お問い合わせなどのときに便利です。

Printed in Singapore　2003/11　　PA-2651A　　288F0950